

# 株主提案書

2019年4月5日

東京都中央区日本橋小伝馬町4-9  
株式会社MS&Consulting  
代表取締役社長 並木 昭憲 殿

住所：兵庫県神戸市東灘区魚崎南町8-12-4-1  
氏名：前田朋己

会社法第三百三条に基づき、下記のとおり提案する。

記

## 【提案の内容】 取締役1名選任の件

取締役候補者：前田朋己（1980年4月30日生）

所有する当社の株式数130,100株



略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2003年3月	立命館大学政策科学部卒業
2003年4月	フューチャーベンチャーキャピタル(株)
2006年11月	メディスンプラス(株) 社外取締役
2008年9月	SBIインベストメント(株)
2011年4月	兵庫県議会議員2期(現任)
2018年10月	合同会社カタリスト代表社員（現任）

## 取締役候補者とした理由：

候補者は、ベンチャーキャピタリストとして多くの企業投資や経営会議に参画し、投資家視点や経営・事業に対する見識を有している。また、県議会議員として行政監視・監督、社外取締役の経験からガバナンスに対する豊富で多様な知見を有している。加えて、個人大株主として、時価総額を意識した経営の強化が期待できるため。

## 【提案の理由】

### 1. 真の独立社外取締役は株主提案で実現

複数の社外取締役などコーポレートガバナンス強化の形式的な整備は進んでいるが、今後は実質への移行が必要だ。東証の独立性基準は最低限の要件であり、執行部から提案される社外取締役では独立性と客観性が不十分である。株主提案の社外取締役によってこそ、モニタリングモデルの強化と株主に対する受託者責任の強化が実現されるため。

### 2. 時価総額を意識した経営力の強化

現経営陣の事業運営には一定の評価をしている。しかし、株価は公募価格を下回り、市場評価も競合他社から大きく劣後している。上場企業に対する株主の評価は株価変動+配当の株主総利回り(TSR)であり、その点は強く改善が求められる。資本コストを意識した経営と積極的な自社株買いや資本業務提携の更なる推進、HRテックを意識したIRIにより、2023年3月末までに時価総額250億円の達成を目指して、経営力の強化を図っていくべきと考えるため。

以上

※本提案への株主総会招集通知の取締役会意見は公平を期すため、本提案と同程度の文章量を求める。